



公明そうか

平成26年新年号
公明党草加市議団
団長 大久保和敏
〒340-8550 草加市高砂 1-1-1



佐々木 洋一

秋山 由紀子

団長 大久保 和敏

宇佐美 正隆

飯塚 恭代

西沢 可祝

明るい草加市のまちづくりに市政をリード！

新年あけましておめでとうございます。

日頃、公明党草加市議団に多大なご支援を頂いていること、心から御礼申し上げます。

さて本年は、公明党は結党五十周年を迎えます。国においては政権与党として地方議会では一番多くの議員を擁する責任政党として、市民の皆様の政治ニーズを的確に捉え活動しております。草加市においても六人の議員が市内全域で皆さまのご要望にお応えすべく奮闘努力しております。

本格的な少子高齢化社会を迎える草加市においては多くの課題があります。

本庁舎や消防本署の各公共施設の老朽化の問題、松原団地地区の建て替え、更には富士製革跡地の有効利用法や将来計画の見通しの策定等があります。

今後の公共施設の配置計画は、将来の草加市を決定づける大事な要素となります。幸い「草加松原」の名勝指定や草加ふささら祭りの盛況など、市民の皆様のご協力を頂きながら着実にまちづくりが進展しております。

公明党草加市議団は今後も、立党の原点である「大衆とともに」を基調として行政の税執行のチェックと未来に向けた明るい草加市のまちづくりのために、本年も全力で取り組んでまいります。

皆様にとりまして、良き年でありますよう心からご祈念申し上げます。

公明党草加市議団

団長 大久保 和敏

草加松原が国の名勝へ！



写真：草加市提供 1975年当時

11月15日「草加松原」を「おくのほそ道の風景地」の1箇所として国の名勝に指定するよう文化審議会から答申されました。

指定区域は草加市栄町1丁目から神明2丁目までの1.5キロメートル634本の松並木です。寛永7年（1630年）頃に植えられた松は、昭和40年代には排気ガスなどで、枯れてしまいましたが、その後「松並木保存会」が立ち上がり、多くの市民の協力により、現在の見事な松並木になりました。

江戸時代、松尾芭蕉が弟子の曾良を伴い「・・・その日やうやう早加（草加）という宿（しゅく）にたどり着きにけり」とおくのほそ道に記した往事の雰囲気をそのままに伝える優れた風致景観として評価されたものです。

ご意見・ご要望・ご相談等お気軽にお申し付け下さい

公明党草加市議団ホームページ <http://komei-sokashigidan.com/index.html> 是非ご覧下さい!!

住民の命を守る支援システムを進めます！

昨年は、竜巻や大型台風による甚大な被害が多発しました。いざと言うとき、市民の命を守るシステムを早急に構築することが必要です。

公明党は、「被災者支援システム」を導入すべきと議会で取り上げ、さらに先進地の兵庫県西宮市へ研修に行き参りました。

今回、草加市ではこの公明党の提言を参考に草加市役所において職員及び議員対象に西宮市から講師を招き、研修会を行いました。

「被災者支援システム」を導入することにより、被災者に関する各種の最新情報を収集・整理・集約でき、災害発生直後から迅速に救護・支援することが可能となります。公明党市議団は、市民の命を守るシステム構築に向け、全力で取り組んで参ります。



草加駅前の駐輪対策が大きく前進！



草加駅東西口に駅周辺での買い物等に便利な短時間駐輪場が整備されました。これまで草加駅前には自転車が溢れ、高年者や幼児など歩行者が安全に歩くことができない状況が続いており、公明党市議団としては駐輪場整備の必要性を指摘し、実現致しました。

平成 26 年度予算要望を市長に提出



10月29日、公明党市議団として、田中市長に平成26年度の予算要望書を提出しました。

日頃、皆様から頂いたご意見やご要望をもとに福祉、環境、教育など130項目にわたり、要望いたしました。

12月定例議会から

★ 公明党が提出者となって国に提出した意見書

- ★ 公共工事の入札不調を解消する環境整備を求める意見書・・・全員賛成で可決
- ★ 介護保険制度における新たな地域支援事業の導入に係る意見書・・・共産党と無所属1名反対、賛成多数で可決
- ★ 企業減税等から確実な賃金引き上げを求める意見書・・・共産党と無所属1名反対、賛成多数で可決



★ 公明党が賛成者となって提出した意見書

- ★ 草加松原団地D地区のグラウンド存続を求める意見書・・・無所属1名反対、賛成多数で可決

第二庁舎の建て替えが始まります！

本庁舎と第二庁舎は建設から50年近くが経ち、老朽化し庁内のスペースが狭くなってきております。本庁舎は耐震診断の結果、大規模災害時に庁舎機能を維持することが大変難しいことが判明しました。今後、いつおきてもおかしくないと予想される東京湾北部地震で、草加市は震度6弱～6強の揺れが想定されていますが、現在の庁舎では災害対策本部の設置も難しいのが現状です。

本庁舎の耐震化もしくは建て替えは早急に取り組む必要がありますが、まずは第二庁舎を民間ビルに移転し、第二庁舎の建て替えを進めます。(平成28年4月オープン予定)

新第二庁舎完成後、本庁舎を一時的に新第二庁舎に移転し、本庁舎の耐震化もしくは建て替えを行ってまいります。

第二庁舎の建て替えに向けて、第二庁舎の窓口が次のとおり仮庁舎に移転しました。

窓 口	第二庁舎での業務	仮庁舎での業務
住宅・都市計画課 地域整備課・開発指導課 建築指導課・みどり公園課 建設管理課・河川課 道路課・維持補修課	平成 25 年 12月 20 日 金曜日まで	平成 25 年 12月 24 日 火曜日から FTビル (住吉 1-5-2)
下水道課 公共建築課 庁舎建設準備室	平成 26 年 1月 24 日 金曜日まで	平成 26 年 1月 27 日 月曜日から NTTビル (高砂 1-7-36)



■ 新第二庁舎 南西側外観イメージ



■ 駐車場

FTビル…草加駅東口の地下駐車場(シティパーキングアコス、無料割引)を利用出来ます。
NTTビル…第4駐車場(無料)を利用出来ます。

お問合せ 庁舎建設準備室 992-1060
管財課 922-1106